事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		防犯対策推進事業				☐ マニフェスト関連	☐ 全庁横断課題関連	☐ 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名 後藤一男						
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名 長島正和						
	基本事業	7	防犯意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線) 1224						
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	4	事業連番	10035	法令根拠	合志市生活安全条例	成果優先度評価結果	3
終了、開始年度	☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度)		期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	11					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	① 生活安全推進協議会の実施及び推進計画の策定 ② 広報誌等を通じて防犯意識の啓発 ③ 防犯パトロールの実施 警察署内の防犯協会設立にあわせ、市においても防犯対策事業を行うようになった。身近なところで犯罪(盗難・窃盗など)が増えてきている。地域での関心も高まり、自主防犯団体は年々増加してきている。
【業務の流れ】	① 事前に警察と協力し情報収集を行う。資料作成、開催通知、費用弁償支払い事務、協議会の開催資料まとめ、推進計画の策定 ② 情報収集、原稿の作成、市民への周知 ③ 関係団体との協力、青色回転灯を使用しパトロールの実施
【主な予算費目】	報酬、職員手当(時間外勤務手当)、旅費(費用弁償)、役務費
【意見や要望】	・自主防犯パトロール隊の意見交換会において、個々の組織で動くのではなく、横の連携を保ち校区ごとの組織で活動してはどうか、また、会員の減少、高齢化の問題提起がなされ、市の広報紙を使って、防犯パトロール隊のPR、会員の募集を行ったらどうか、という意見が出された。 ・議会の総務委員会の中で、教育委員会のセーフティパトロールと地域防犯団体、学校の三者での見守り活動が必要で、市の経営方針の再考を、という意見が出された。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・生活安全推進協議会を実施した (1回) ・広報誌、防犯パトロールなどの啓発事業を行った ・警察と自主防犯パトロール隊等の意見交換会を行った。(1回)	・生活安全推進協議会を実施した (1回) ・広報誌、防犯パトロールなどの啓発事業を行った ・警察と自主防犯パトロール隊等の意見交換会を行った。(1回)
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 協議会開催回数	回
⇒ イ 啓発活動回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	⇒ ア 市民 人
⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
防犯に対する知識を身につける	⇒ ア 防犯パトロール団体数 団体
⇒ イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 「防犯に対する知識を身につける」ことを防犯パトロール団体数で捉えることとした。 21年度が一度に多くの団体が発足したが、22年度は、それ以前の実績並みの2団体増加、27団体とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	回	1	2	2	1	1	1	
	イ	回	48	47	48				
⑤ 対象指標	ア	人	54,027	54,407	55,124		55,732	56,281	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	団体	18	20	22	25	27	29	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	148	149	284		165	165
	(A) 事業費計	千円	148	149	284	0	165	165	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円					46	46	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	5	5	4	4	4
延べ業務時間		時間	540	460	460	270	270	270	
(B)人件費計		千円	2,144	1,840	1,831	1,075	1,075	1,075	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,292	1,989	2,115	1,075	1,240	1,240	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	防犯対策推進事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<ul style="list-style-type: none"> 生活安全推進協議会を実施した(1回) 広報誌、防犯パトロールなどの啓発事業を行った 警察と自主防犯パトロール隊等の意見交換会を行った。(1回)

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

<ul style="list-style-type: none"> 生活安全推進協議会の開催を1回とし、警察と自主防犯パトロール隊等の意見交換会に切り替える。 区長会、地区防犯講習会などで、自主パトロール団体の結成を働きかける。